

FOOD ACTION NIPPON 推進本部 設立趣意書

地球規模で深刻化する食料問題。アジアやアフリカで顕著な人口増加、ライフスタイルの変化による食生活の変化によって食料需要が増加する中、バイオ燃料生産への転換、気候変動による食料生産不安定化などにより、食料供給の安定性は脅かされています。国際社会では、将来、深刻な食料危機が訪れる可能性が懸念されています。

これは、私たちにとっても、他人事ではありません。現在の日本の食料自給率は40%（カロリーベース）。食料の60%を外国に依存しており、何らかの事態で外国からの食料供給が止まってしまうと、私たちの食生活は大きな影響を被ってしまいます。

こうした状況をすべての国民の皆様が認識し、食とのかかわりを新たに考える。そのために政府では、平成19年7月から「食料の未来を描く戦略会議」を開催。戦略会議から平成20年5月に出されたメッセージに呼応する形で、平成20年10月に、食料自給率向上に向けた国民運動「FOOD ACTION NIPPON」を立ち上げました。

FOOD ACTION NIPPONの目標は「“おいしいニッポンを”残す、創る」こと。そのために、平成27年度に食料自給率45%の実現を目指して取り組みます。

多くの消費者が、国産農産物を選択して、使う、食べることで、農業生産者の方々からより多くの国産農産物が作られるようになり、食品に関わる企業・団体の方々から、国産農産物を使ったより優れた商品や料理、食生活が提案され、それによりさらに多くの人々が国産農産物を選択する。その結果、『豊かな美味しい国産の食品に満ちた、ニッポン』という国をつくっていきたいと願っています。